

各 位

2021年11月2日
SBIホールディングス株式会社
SBI Ventures Malaysia Sdn.Bhd.

マレーシア政府系投資機関 VentureTECH との 共同ベンチャーファンド設立に関するお知らせ

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：北尾 吉孝）のマレーシアにおける投資事業子会社であるSBI Ventures Malaysia Sdn.Bhd.（本社：マレーシア・クアラルンプール、Managing Director：石綿 良裕）は、このたび、マレーシア政府系投資機関のVentureTECHとの間でアーリーからミドルステージまでの技術系未上場企業を投資対象とする共同ベンチャーファンド（正式名称：VENTURETECH SBI CAPITAL LP 以下「本ファンド」）を設立いたしましたので、お知らせいたします。

本ファンドは、IoTアプリケーション等のデジタル化によって農業等の伝統産業を根本的に変えていくことが期待される、「Industry 4.0」関連の革新的なテクノロジーを保有する、マレーシア地域の有望なスタートアップを投資対象とするベンチャーキャピタルファンドです。マレーシア政府は今年2月、デジタル主導による経済改革を主眼とする国家成長政策「MyDIGITAL（マイデジタル）」を発表しております。本政策は、デジタル基盤の強化や民間や企業などに幅広くデジタルの利用を強化することでデジタル変革を促進し、デジタル・コンテンツやサイバーセキュリティ分野で域内トップを目指すもので、2030年までにデジタル経済部門の生産性のレベルを現在から30%向上させることを目標に掲げています。本ファンドは、マレーシア地域において成長分野への多くの投資実績と経験を有する、マレーシア政府系投資機関であるVentureTECH社と当社により、共同で設立・運営します。

VentureTECH社は、2009年にマレーシア首相府傘下のシンクタンク組織であるMIGHT（Malaysian Industry-Government Group for High Technology）の完全子会社として設立され、これまでマレーシア地域においてバイオ、革新的な新興技術、グリーン関連産業などのテクノロジーセクターを代表する25社以上への投資実績があります。同社はマレーシア政府の支援を生かし、マレーシア社会経済の持続的貢献・リターンが見込まれるインパクト投資を強みとしており、2021年9月末時点の運用資産残高は約60百万米ドル相当となります。

SBIグループは、これまで海外有力パートナーと共同ファンドの運営を通じて、潜在成長性の高い国々を中心に海外展開を進めてまいりました。マレーシアは民族間、所得グループ間、地域間などにおけるさまざまな格差が課題となっており、このような格差を解消することで産業構造を転換させ、更に「MyDIGITAL（マイデジタル）化」を実現することで持続可能な経済成長を目指しております。このような課題の解決のために、当社はこれまでに培ったベンチャー企業育成の知見を活かし、本ファンドの運営を通じ、マレーシア地域における更なる産業競争力の向上のため、積極的に貢献してまいります。今

後、当社グループ投資先のテクノロジーとVentureTECH社の多様な情報の組み合わせにより、マレーシアの「デジタルシフト」を実現に寄与するスタートアップ企業への投資育成に貢献してまいります。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126